

令和2年度厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）  
5 類型施設における効率的な臓器・組織の提供体制構築に資する研究  
—ドナー評価・管理と術中管理体制の新たな体制構築に向けて—

分担研究報告書

「メディカルコンサルタントの現状と5 類型施設への業務移管に関する研究」

研究分担者

江川裕人

（東京女子医科大学消化器外科学講座・教授）

研究協力者：

東京大学医学部附属病院心臓外科 教授 小野稔

研究要旨

本研究の主題であるドナー評価・管理マニュアルの中のドナー評価マニュアルについて、日本移植学会から臓器別に担当者を割り当て評価マニュアルを作成した。さらに COVID-19 蔓延下において、日本移植学会 COVID-19 対策委員会に依頼し、「COVID-19 より回復後の臓器提供に関するマニュアルと手順書」を作成した。

A. 研究目的

ドナー評価・管理マニュアル作成

マニュアルと手順書」(資料5)を執筆した。

B. 研究方法

日本移植学会脳死下・心停止後リカバリー環境改善委員会に移植医の立場からドナー評価・管理マニュアルと手順書の執筆を依頼した。さらに COVID-19 蔓延を鑑み、日本移植学会 COVID-19 対策委員会に「COVID-19 より回復後の臓器提供に関するマニュアルと手順書」を依頼した。

（倫理面への配慮）

該当する内容はない

D. 考察

ドナー管理は、臓器特有の評価に基づいた臓器特有の輸液管理が求められる中で、最大公約数的な配慮が重要である。

COVID-19 感染中の患者は原則臓器提供の対象にならないが、回復患者からの臓器提供について海外で報告がなされるようになってきている。本研究において、可能な限り文献検索を行い現時点でのコンセンサスをマニュアルとした。ただし、医学的には可能であるが、レシピエントへの説明と同意取得が肝要であると考えられた。

C. 研究結果

臓器別にドナー評価マニュアル・手順を執筆した。さらに COVID-19 蔓延下において、日本移植学会 COVID-19 対策委員会に依頼し、「COVID-19 より回復後の臓器提供に関する

E. 結論

臓器特有の評価に基づいた臓器特有の輸液管理が求められる中で、最大公約数的な配慮が重要である。COVID-19 回復患者からの臓器提供はレシピエントの同意のもとに

可能である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

Kumar D, Manuel O, Natori Y, Egawa H, Grossi P, Han SH, Fernandez-Ruiz M, Humar A. COVID-19: A Global Transplant Perspective on Successfully Navigating a Pandemic. Am J Transplant. 2020 Mar 23. doi: 10.1111/ajt.15876.

2. 学会発表

該当なし

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得：なし

2. 実用新案登録：なし。

3. その他：なし